



ご入園、ご進級から1か月が経ちましたね。子どもたちは新しい環境や担任にも慣れ、不安や緊張もほぐれ笑顔で登園しています。

新型コロナウイルスがとうとう島根県にも上陸し、保護者のみなさまはこれから不安を感じておられることと思います。登園自粛の願いをしたところ、たくさんの方にご協力いただきありがとうございます。仕事を休みまでされなくても、仕事が終わったらすぐに(例えば半日など)お迎えに来ていただいたりご協力の気持ちに感謝いたします。引き続きのご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

栄養のある食事(きのこ、海藻類には免疫アップの力があるそうです)良質な睡眠でコロナウイルスに打ち勝ちたいですね。

《ウイルスの次にやってくるもの》 日本赤十字社より抜粋

ウイルスから身を守るためには、きちんと手を洗うだけで感染する確率はぐんと下がる。そいつはお腹をすかせているみたいで、暗いニュースや間違った情報をたくさん食べて、どんどん育てて、そしてささやく。先の見えない状況を「もうみんな助からないと」そいつは人から人へと広まっていく。「あの人が病気になったのは誰のせい?」「ウイルスが広まったのはあいつのせいだ。」そいつは周りに攻撃を始める。人と人が傷つけあい分断が始まる。そいつは脅かす。もしも感染していたらどうする。みんな熱があっても隠すようになる。具合が悪くても元気な振りをするようになる。具合が悪くても元気な振りをするようになる。もう感染しているかわからない。ウイルスがどんどんひろまっている。鏡を見るとそこにはもうあなたはいない。そいつの名前は恐怖。

ウイルスの次にやってくるもの。もしかしたらウイルスより恐ろしいもの。私たちが恐怖にのみこまれる前にできること。恐怖に餌を与えない。時にはパソコンやスマホを消して、暗いニュースばかりを見すぎるのはやめよう。不確かな情報をうのみにしないで、立ち止まって考えよう。恐怖のささやきに耳を貸さない。誰にもまだわからないことは、誰にもまだわからないことで仕方ない。そのままを受け止めよう。恐怖から距離をとる。避難や差別の根っこは自分の過剰な防衛本能があることに気づこう。冷静に客観的に恐怖を知り、見つめれば、恐怖が薄れていくはずだ。

恐怖が苦手なものは笑顔と日常だ。家族や友人と電話して笑おう。いつものようにきちんと食べて眠ろう。恐怖は逃げていくだろう。恐怖は誰の心の中にもいる。だから励ましあおう、応援しあおう。人は団結すれば恐怖よりも強く賢い。恐怖に振り回されずに正しく知り、正しく恐れて、今日私たちにできることをしていこう。

《新型コロナウイルスに思うこと》

今年になって新型コロナウイルスが流行し、東京や大阪、また、世界中で大爆発。パンデミックをおこしました。誰もまさかこんなことになるなんて思っていなかったと思います。私はといえば3月の頃はさほどこのコロナを身近に感じていなかったのが本当のところ。4月下旬になると出雲市にもとうとう第1号が…。自分たちがかかったら大変なことになる。私は温泉が大好き。でも、4月からはどこにも行かなくなり、毎日、家と保育園の往復です。でも、家にいる幸せや家事や料理をする楽しさ、いつもはなかなかできない読書など、外ばかりに向けていた自分の気持ちを内に向ける良い機会だったなとも思いました。

子どもたちも家にいるとストレスがお互いたまることもあると思います。でも、一緒にくっついていられる良さもあります。コロナウイルスがいなくなるまで、家で家族の良さやありがたさに気づけると良いですね。ある本にこう書いてありました。寝ない街、東京。そんな休む暇もなく働いている人間に少し休んで立ち止まって考えよう。日々の便利なものやエネルギーの使い過ぎ、環境破壊などについてもう一度考えようウイルスが言って



★こいのぼり

保育園にこいのぼりが上がりました。道行く人たちがこいのぼりを見上げ『こいのぼり』と『子どもたち』の声に癒されるわ〜と。子どもたちが道行く人たちの元気の源のようで、うれしい声でした。

★少しずつ気温が上がり天気の良い日が増えてきました。活発にあそぶ子どもたちはとても汗をかきやすいです。半袖・半ズボンも着替えの中に入れておいてください。

ホームページ開設しました!

情報発信をはじめ、保育園の写真なども掲載していますので、是非ご覧ください。

<http://www.izumohikarihoikuen.jp/>